

文化のひろば

伊豆文学フェスティバル

とき 3月6日(日)午後2時～4時

ところ 市民文化会館小ホール※入場無料

内容・定員 第19回伊豆文学賞表彰式、伊豆文学塾
(審査員の作家による座談会)・先着300人

申込み・問合せ 電話またはFAXで県文化政策課内「伊豆文学」係(☎054-221-3109、FAX054-221-2827)へ。

関連イベント

●おみやげ付き!学芸員の解説で巡る文学バスツアー

とき 3月6日(日)午前10時楽寿園駅前口集合、午後1時30分市民文化会館前解散

行き先 大岡信ことば館、クレマチスの丘(井上靖文学館、テッセン(昼食))

定員・費用 24人・1人3,980円

申込み・問合せ 三島市観光協会(☎971-5000)

●ボイスキュー(FM77.7MHz)で特別番組を放送

とき 2月22日(月)～26日(金)午前11時45分～正午

内容 太宰治や小出正吾など、三島の文学に縁のある文学者などについて楽しく、分かりやすく紹介します。

リチャード・クレイダーマン2016with ストリングス・トリオ&パーカッション

とき 5月10日(火)午後6時開場、午後6時30分開演

ところ 市民文化会館大ホール

※市民文化会館には、駐車場はありません。

近隣の有料駐車場または公共交通機関をご利用ください。

料金 全席指定(消費税込)6,800円※未就学児入場不可
チケット販売 ▶窓口販売:2月6日(土)午前9時から

▶電話予約:2月6日(土)午後1時から

問合せ 市民文化会館(☎976-4455)

もしもの時に慌てないための生き方とは? 子供に迷惑をかけない老後の過ごし方セミナー

とき 2月20日(土)午後1時受付、午後1時30分開講

ところ 市民文化会館小ホール※無料。希望者のみセミナー終了後に個別相談会(要事前申し込み)有り。

講師・定員 山本聡平さん(コミュニケーションバンク株式会社代表取締役)・先着200人

申込み・問合せ 市民文化会館(☎976-4455)

佐野美術館展覧会「佐野美術館のおひなさま」

とき 3月6日(日)まで※午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで、2月11日を除く木曜日は休館)

入館料 一般・大学生1,000円、小・中・高校生500円

展覧会関連イベント

●隆泉苑 春の特別公開一さのびアートセレクション・白隠と祈りの美術

とき 2月20日(土)・21日(日)午前10時～午後4時

ところ 隆泉苑(佐野美術館庭園内)

費用 1,000円(呈茶券付き)※申し込み不要

問合せ 佐野美術館(☎975-7278)

問合せ 図書館(☎983-0880)、中郷分館(☎982-5102)

図書館

●2月の休館日

1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、26日(金)、29日(月)

図書館本館2月のおはなし会

とき ▶2～3歳:3日(水)、10日(水)、17日(水)、24日(水)
午前10時30分～10時50分▶4歳以上:21日(日)午前10時30分～11時

ところ 児童おはなしコーナー※直接会場へどうぞ

中郷分館2月のおはなし会

とき ▶4歳以上:3日(水)、10日(水)、17日(水)、24日(水)
午後4時～4時30分

ところ 中郷分館おはなしコーナー※直接会場へどうぞ

図書館展示コーナー紹介

「近世東海道・三島宿を旅した人たち」

展示期間 5月29日(日)まで

展示場所 本館1階「ふるさと文学者コーナー」右側

第3回図書館講座「これから読書はもっともっと面白くなる!～ミシマ社、三島で語ります。」

とき 2月27日(土)午後2時～3時30分

ところ 生涯学習センター3階講義室

内容 出版界の現在、新しい働き方など

講師 三島邦弘さん(株式会社ミシマ社代表)

定員 先着150人※申し込み不要、無料

特集
消防広域化
第二弾

市町がつながり、消防救急力を強化する

広域化でさらなる 安全・安心へ



富士山南東消防組合は、平成28年4月1日から運用される、三島市、裾野市および長泉町からなる広域消防組合です。今回は、消防の広域化により期待できる効果として、消防救急力の強化について説明します。

問合せ 消防総務課 (☎972-5801)

火災などの災害や救急時の体制強化

消防の広域化に伴う消防車や救急車の運用できる台数の増加により、火災などの災害や救急時の初動対応、応援体制が強化されます。

特に市町の境においては、従来の管轄区域を越えて最も近くの消防署などからの出動が可能となります。現場までの到着時間が短縮されるので、1分1秒でも早く火災などの災害現場や救急車を必要とする皆さんのもとに駆けつけることができます。消火活動では、延焼を防ぎ、救急活動における救命率の向上が見込まれます。なお、三島市南部については、広域化当初は従来と変わりませんが、今後、富士山南東消防組合で救急車の配置をするなど体制強化を図っていきます。



▲市町境での火災発生時における出動イメージ

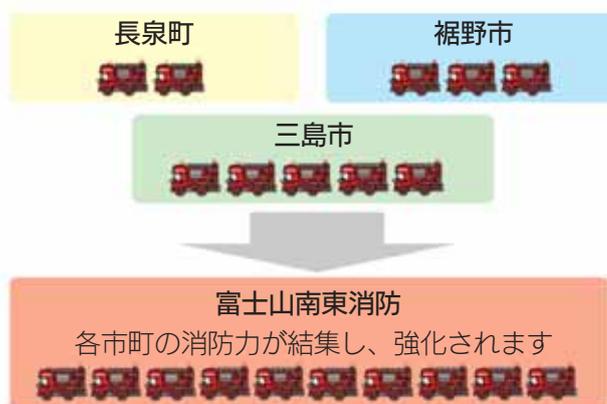
消防団との密接な連携

皆さんの身近な存在である各市町の消防団は、地域に密着した多様な活動を行うため、広域化の対象外となっていますが、各市町と富士山南東消防本部・消防団は、引き続き密接に連携を図っていきます。

※次回広報みしま3月1日号では、富士山南東消防組合の窓口業務や連絡先などについて案内を掲載する予定です。

資機材の導入・更新の円滑化

消防組織の拡大により、財政規模も拡大します。高性能な機材（はしご車など）の導入や、資機材の更新を計画的に行うことが可能となります。



※  は消防力のイメージ

パブリック・コメントの結果概要

平成27年10月～11月にかけて実施した「三島市、裾野市及び長泉町広域消防運営計画（案）」のパブリック・コメントの結果概要は、次のとおりです。

●意見提出者

区分	人数
市内に住所を有する人	11人
市内に存する事務所、または事業所に勤務する人	2人

●反映結果別集計

区分	意見数
政策等に反映したもの（一部反映を含む）	15件
既に反映済のもの	1件
反映できないもの	14件
そのほか（質問など）	19件

消防組合の名称や北上地区の消防力などのほかたくさんの意見が寄せられました。詳細は、市ホームページ（パブリック・コメントページ）、または消防本部をご覧ください。